

都道府県名

宮 城 県

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	南方町立南方中学校					
学 年	1 年	2 年	3 年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	2	11	24
生徒数	109	107	107	4	327	

研究の概要

1. 研究主題

基礎・基本の定着を図る指導方法の工夫
～評価を生かした学習過程の改善～

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

* 実施学年及び教科を選択した理由を記すこと。
・9教科（特に数学，英語）（全学年）
生徒の理解の状況に差が出やすい教科、学年であるため。
これまでの研究成果と生徒に対する実態調査の結果から、実施学年・教科の枠を広げ、研究に取り組むため。

(2) 年次ごとの計画

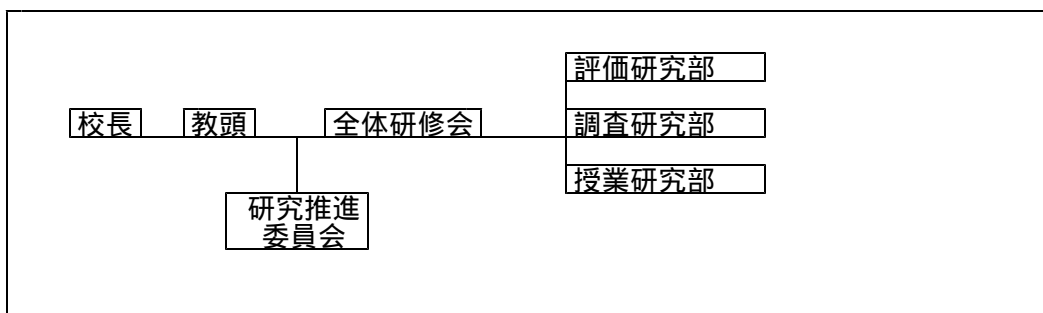
平成 14 年 度	<p>テーマ 年次ごとの研究テーマあるいは研究の主眼となるものを記述すること。 研究の見通し（仮説） 年次ごとの研究の見通しを簡潔に記述すること。 研究の内容・方法 研究内容及び方法の概要を記述すること。</p> <p>* 昨年度の中間報告書の内容を転記すること。</p>
--------------------	--

平成 15 年 度	<p>テーマ 基礎・基本の定着を図る指導方法の工夫 ～評価を生かした学習過程の改善～ 研究の見通し 評価を生かした学習過程の改善を通して、基礎・基本の定着を図る指導方法の在り方を探る。次のような手だてをとることによって基礎・基本が定着し、その後の学習の動機付けになるであろう。 ・実態把握による指導の重点化 ・評価に基づいた学習活動の工夫 ・個に応じた指導の工夫（数学＝TT指導，英語＝少人数指導）</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>1 調査研究</p> <p>1) 生徒の学習環境の意識調査＝生徒用，保護者用 2) 英語少人数授業についての生徒の意識調査 3) 数学科のTT授業についての生徒の意識調査 4) 生徒の学力における実態の把握 NRT検査の実施</p> <p>2 評価について</p> <p>1) 自己評価表の作成 2) 到達度チェック表の作成</p>
--------------------	---

	<p>3 校内研究について</p> <p>1) 授業研究</p> <p>2) 校内研修会(フロンティア先進校より講師を招いて)</p> <p>3) 校内研究アンケート(平成15年度の総括)</p> <p>4) フロンティア校視察</p>
--	--

平成16年度	<p>テーマ 確かな学力を身に付けた「南方中生」の育成 ～個に応じた授業と教材開発を通して～</p> <p>研究の見通し 1) 数学TT授業, 英語少人数授業 2) 教材開発(5教科)</p> <p>研究の内容・方法 1) 調査研究(前年度と比較) 2) 学力の把握(NRT検査の実施)(前年度と比較) 3) 評価について(授業での評価カード活用と今後の指導への役立て方) 4) 授業研究, 校内研修会</p>
--------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

- ・生徒の実態把握につとめたが、各教科で指導を行う際の貴重な資料となった。
- ・数学TT指導, 英語少人数授業に関しては、全校の70%以上の生徒が興味を持っていることがわかった。
- ・研究授業を行い、教師間の指導のレベルアップを図った。
- ・フロンティア先進校の取り組みを知ることで、指導に役立てることができた。

2. 今後の課題

- ・各教科で、「基礎・基本とは何か」を考え、取り組んでいるが、さらに生徒の実態をよく押さえ、指導していく必要がある。
- ・「評価を生かした」という副題の捉え方について、教師側の共通理解が必要である。
- ・各研究部の活動がさらに活発化していくように、研究推進委員会等を行い、連携を強めていきたい。
- ・各教科内での、授業研究を活発に行っていききたい。
(積極的に授業を見せ合い、学び合う。)
- ・他の学力向上フロンティア校の内容等を参考に、本校独自の取り組みについて考えていきたい。

学力把握のための学校としての取組

- ・ N R T 検査（全国平均との比較のため実施，5月中旬，5教科）
- ・ 生徒実態調査（学習環境調査，生徒の意識を知るため，6月実施，全学年）
- ・ 保護者アンケート（生徒の学習について，7月上旬，全学年）
- ・ 英語，数学アンケート調査（実態把握のため，7月上旬，全学年）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・ 研究のまとめ（研究集録作成）（3月上旬）
- ・ H P 作成（2月上旬予定）
- ・ 学校便りによりフロンティア校としての取り組みを広報

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】 ■ 15年度からの新規校 □ 14年度からの継続校
- 【学校規模】 □ 3学級以下 □ 4～6学級
 □ 7～9学級 ■ 10～12学級
 □ 13～15学級 □ 16学級以上
- 【指導体制】 ■ 少人数指導 ■ T・Tによる指導
 □ その他
- 【研究教科】 ■ 国語 ■ 社会 ■ 数学 ■ 理科
 ■ 外国語 □ 音楽 □ 美術 □ 技術・家庭
 □ 保健体育 □ その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 ■ 有 □ 無